



どい 土肥こうすけ

後援会ニュース 2020年10月（第23号）

発行：土肥こうすけ後援会 発行責任者：出原 逸三 編集責任者：三田 哲治
〒525-0044 草津市岡本町1000番地2（ダイキン工業労働組合滋賀支部内） TEL：077-564-1153

平素は私の政治活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。秋の深まりとともに寒さも増してまいりましたので、くれぐれもご自愛専一にお過ごしください。

少し前の話になりますが、さる9月11日に国民民主党が解党したことにより私は「無所属」で活動することとなりました。

市民の生活をより豊かに、そして安心して暮らせる地域づくりに取り組む姿勢や考えは変わりなく、働く仲間や生活者の視点で行政に対峙してまいりますので、今後ともご指導とご支援のほど宜しくお願いいたします。

令和2年9月定例会 トピックス

毎年9月の定例会では、前年度の決算審査が中心となります。

決算審査を通じて行財政のムダ・ムラを厳しく指摘して改めさせ、次年度予算を効率的に運用することによって、どれだけ市民満足度を高めることが出来るかが重要です。

とりわけ、次年度はコロナ禍による景気悪化に伴い、税収減が懸念されます。

税収減による行政サービスの低下を回避してひきつづき安全安心な市民生活を送っていただけるよう、今定例会において決算審査特別委員会のメンバーとして「費用対効果」を重視した審査を実施いたしました。

● 審査項目について

今回の決算審査では、下記の6つの施策評価と各部門全般の事業について審査いたしました。

施策名	コメント	評価(4段階)
学校経営の充実	コミュニティスクールの活用に課題あり。	B
質の高い就学前教育・保育の提供	質の向上とあわせて待機児童問題の解決を急ぎ求める。	B
地域包括ケアシステムの推進	市の取り組みを整理し、今後も進めてもらいたい。	B
公園・緑地の活用	「みずの森」や「草津川跡地」に快適性の課題あり。	B
観光資源の活用と草津のブランド力の強化	ブランド力がアップしていない。	C
職員の資質向上	成果を意識した改善や工夫の余地あり。	B

● 総評

施策評価では、「B（概ね順調）」という評価が並びましたが、事業単位で見ると改善すべき点が多くみられました。

また、各部門全般の事業についてもしっかりと時間をかけて審査を実施したところ、いわゆる「手段が目的と化している」事業が散見され、そのような事業について費用対効果をうかがうと、答弁で抽象的な表現に終始し、はっきりと効果が見えないものばかりでした。

このような予算の使い方を是正するべく、次年度予算案について審議する際には、目的および目標を明確に示した事業を計画しているかどうかの視点で臨みたいと考えています。



質問テーマ

水害対策について

安全の三カ方

質問の狙い

近年、毎年のように全国各地で「100年に一度の豪雨」が発生しており、その豪雨がもたらす浸水被害は甚大です。被害を最小限に食い止め、市民の命と財産をまもるための水害対策の状況を確認し、拡充を求めます。

主なやりとり



雨水を河川等に排水するための事業および、県に要望している一級河川整備の進捗をうかがいます。

雨水事業の進捗については、令和元年度末時点で整備対象面積3023.3haのうち約20.3%にあたる614.5haの雨水整備が完了。

今年度は、東矢倉三丁目、矢橋町、南笠町地先の雨水整備工事を予算額3億円にて進めています。

今後の計画については、排水先である一級河川の整備状況をみながら水害の危険性の高い地域から順次整備を進めてまいります。

現在、早急な整備を要望している一級河川は、草津川上流部・北川・狼川・十禅寺川・伊佐々川です。

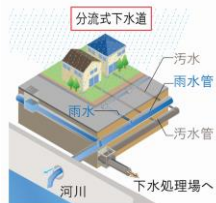
このうち草津川上流部については測量業務に着手頂いています。また、工事中の北川についてはJRから国道1号線までの区間について令和5年度の完了を目標とし、着手頂いています。

他の未改修河川についても、あらゆる機会を通して粘り強く要望してまいります。



市の答弁

雨水事業の課題



下水道による雨水幹線の放流先である一級河川の改修には、多額の事業費と期間を要するため、雨水幹線の整備率が向上しない原因の一つとなっています。

雨水幹線は、污水管渠に比べて大きな断面であり、市街地の道路専用品（水道、電気、電話等）との関連から、雨水幹線の占用スペースを確保することが難しいことも、雨水幹線の整備率が向上しない原因の一つとなっています。

今後の市政に求めること

記録的豪雨（100mm/h程度）に襲われた際に浸水する深さを地図に落とし込んだ「草津市ハザードマップ」を見ると、現在多くの方が居住されている地域（居住誘導区域）のうち約4割が床下浸水以上の被害が想定されています。

雨水事業および一級河川整備は多額の予算が必要になることから、整備率を劇的に向上させることは困難かもしれません。しかし、今まで以上に豪雨災害は身近なものになっていることから整備の一層のスピードアップと、災害に強いまちづくりの実現を求めてまいります。



質問テーマ

草津市飲食店応援チケット事業について

産業の三カ方



質問の狙い

コロナ対応緊急経済対策の一環として8月からスタートした本事業の手応えを確認する。
また、駅前を中心に、8月時点でチケットが完売している店舗も続出していることから、チケットの再配布を提案する。



主なやりとり



対象事業者のうち、本事業への参加店舗数の割合と、要因をうかがいます。

本市の飲食店は533店舗となっており、9月14日現在、本事業への参加店舗数は231店舗。全体の約4割程度となっています。

533店舗中、400店舗ほどの市内店舗に職員が出向いて説明をしているなかで約4割にとどまっているのは若干少ないように思っています。

要因としては①おもに常連客の応援でやりくりしている、②市からチケットを買わないといけないと勘違いしている、③市民以外のお客さんが利用できない、などが挙げられます。

今後、このような事業展開をする上での参考になるよう情報分析をしているとこです。



市の答弁

参加店舗割合は思っていたより少ないが、全体の約8割の店舗に対して直接足を運んで事業説明を実施したことについては評価しています。

私も、市内店舗を回ってヒアリングを重ねてきたが、どの参加店舗からも好評でした。また、プレミアム率50%という高さとい冊あたり2,000円という買い求めやすさが相まって、市民からの評判も良いです。

実施期間がまだ半分あるが、すでにチケットを完売した店舗がいくつもあり、再配布を求めています。予算残からも応えることは可能と考えますが、市の考えをうかがいます。

今後、国においてGoToEatキャンペーンとして地域の飲食店で使える25%のプレミアムを上乗せした食事券等が販売され、飲食店の支援が行われる予定となっています。

本市としては、チケット再配布ではなくこの事業をより多くの方に使っていただけるよう周知啓発を行うことで、飲食店の支援を引き続き行ってまいりたい。

今後の市政に求めること

GoToEatキャンペーンは、滋賀県では1冊1万円での販売であり、手軽に買い求められる価格設定になっていません。また、飲食店にとってはすぐに現金化できないという問題があります。

いずれをとっても、草津市の支援事業の方が制度設計的に優れているので、GoToEatキャンペーンの様子を見極めて、必要であれば本事業の再開を求めていきたいと考えています。

コロナ対応関連補正予算(抜粋)

新型コロナウイルス感染症拡大の終息時期が未だに見通せず、地域経済の減退や生活不安を払拭できない状況が続いており、限られた予算の中でも市民の安心を得られる取り組みを求めてまいりましたところ、今定例会においても補正予算案が上程されましたので、可決した内容を報告いたします。

介護サービス・障害福祉サービス事業者への支援

新型コロナウイルス感染症拡大により、利用自粛等の影響を受けた介護サービス事業所等を運営する法人に対し、事業継続のために支援費として2,760万円が計上されました。



令和2年4月27日以降に生まれた新生児にも10万円



以前に国が行った一律10万円給付の対象にならない新生児について、経済的な負担を和らげるため、次年度への繰り越しも含めて約1億3,000万円の給付費が計上されました。

対象：令和2年4月27日生～令和3年3月31日生の新生児

宿泊施設を利用したテレワークを支援

利用客が大幅に減少している宿泊施設の利用を促進し、あわせて自宅でのテレワークに不便を感じている市民が利用しやすくするため、テレワーク支援補助金として634万円が計上されました。

補助限度額は、3,000円/回（妊婦・子育て世帯の方は3,500円）

(例)

市内宿泊施設のテレワークプランが4,000円の場合、負担額は1,000円（500円）



市議会議員としての5年目をふりかえって

昨年9月、皆様の力強いご支援により2期目の当選を果たすことが出来てはや1年が経過しました。

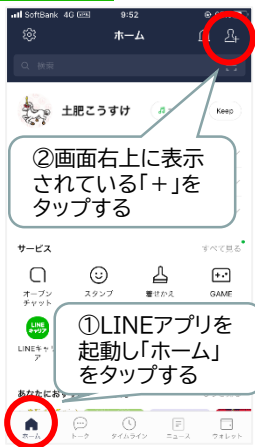
2期目のスタートにふさわしい1年を過ごそうと決意したのですが、年初来のコロナ禍が私の活動に与えた影響は大きく、人との交流や対話の機会が殆ど失われ、また、自粛せざるを得ない状況となりました。

「このままではいけない」という思いが日に日に強まり、新たな手法でご意見を伺ったり、情報提供を試みっていますが、やはり対面に優る手法はありません。

6年目を迎えたいま、コロナ感染状況をみながら考えうる限りの感染防止対策を取り、直接対話の活動を再開したいと考えていますので、ご理解とご協力のほど宜しくお願いいたします。



LINE 公式アカウントはじめました



②画面右上に表示されている「+」をタップする

①LINEアプリを起動し「ホーム」をタップする



③「QRコード」をタップする

④QRコードを読み込んで友だち追加する



LINE 友だち追加

スマホアプリ「LINE」を通じて議会活動や、暮らしに役立つ市政情報をタイムリーにお届けしたく、公式アカウントを立ち上げました。

ぜひお手元のスマートフォンから土肥こうすけ後援会の公式アカウントを「友だち追加」いただきたくお願い申し上げます。